

## 令和5年度 学校経営報告書（自己評価）

学校番号	37	学校名	静岡西高等学校	校長名	山崎文則
------	----	-----	---------	-----	------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア	自己肯定感の涵養	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「自分は価値ある人間である」と答える生徒 70%以上</li> <li>・「IP を意識して学校生活を送っている」と答える生徒 70%以上</li> <li>・「西高の先生は、よく褒め励ましてくれる」と答える生徒 80%以上</li> <li>・「学校生活が充実している」と答える生徒 80%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 73.0%</li> <li>・ 60.3%</li> <li>・ 66.7%</li> <li>・ 85.7%</li> </ul>	B	教務課 学校行事等、意欲的に取り組む生徒が多い。活躍の場を増やし自己肯定感を高めたい。生徒課 課内では「認める」声かけが多かった。個々の行動に目を向けて「褒め励ます」を日常的にしていく。徐々に学校行事が行えて、活躍する生徒の姿が見られた。
イ	基本的生活習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「規律ある学校生活を送っている」と答える生徒、保護者 90%以上</li> <li>・「あいさつができています」と答える生徒、保護者 90%以上</li> <li>・ 欠席者数 のべ 在籍人数×3回以内 (720)</li> <li>・ 遅刻者数 のべ 在籍人数×4回以内 (960)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(生)95.2%</li> <li>(保)95.1%</li> <li>(生)93.7%</li> <li>(保)93.2%</li> <li>欠席 1026</li> <li>遅刻 489</li> </ul>	A	教務課 登校時刻を守り規律ある生活を送る生徒の数を増やすことができている。遅刻、欠席数の減少を目指し根気強く指導していきたい。生徒課 校内であいさつができる生徒が増加した。基本的生活習慣も多くの生徒が定着した。今後は(遅刻ののべ数は目標以下ではあるが)欠席と共に更なる減少を目指したい。(特に同一生徒の遅刻数)
ウ	社会的規範意識の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「相手を思いやる発言や行動をしている」と答える生徒 80%以上</li> <li>・「校則や交通ルールなど社会のきまりを守っている」と答える生徒 90%以上</li> <li>・ 重大な交通事故ゼロ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 85.7%</li> <li>・ 96.8%</li> <li>・ 重大交通事故ゼロ</li> </ul>	A	生徒課 重大な交通事故ゼロという目標は達成できた。自転車マナーの向上、外部からのクレームの減少が今後の課題になる。「相手を気遣う」事についての教育活動に力を入れる。
エ	基礎学力の定着	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学びの基礎診断において、学力の向上が見られた生徒 60%以上</li> <li>・ 「西高で学力を伸ばすことができる」と答える生徒、保護者 70%以上</li> <li>・ 「勉強を頑張っている」と答</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年 60.3%</li> <li>2年 36.8%</li> <li>(生)73.0%</li> <li>(保)76.7%</li> </ul>	B	教務課 上位層の数は大きな変化はないが、下位層が増えている。授業や課題の与え方に工夫を加え、学習時間を増やすよう取り組みたい。

様式第3号

		<ul style="list-style-type: none"> <li>える生徒 60%以上</li> <li>・家庭学習時間 週7時間以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 60.3%</li> <li>・ 30.2%</li> </ul>		
オ	課題解決に向け主体的に取り組む資質・能力の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 言語活動を充実させ、主体的・対話的で深い学びを実践している教員 80%以上</li> <li>・ 「学校行事に積極的に取り組んでいる」と答える生徒、保護者 90%以上</li> <li>・ 「部活動に意欲的に取り組んでいる」と答える生徒、保護者 90%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(教) 100%</li> <li>(生) 87.3%</li> <li>(保) 98.0%</li> <li>(生) 81.0%</li> <li>(保) 75.7%</li> </ul>	B	<p>教務課 ICT 機器を活用した授業が実践されており、深い学びへとつなげられている。</p> <p>進路課 全教員が分担して3年生面接/小論文指導を実施した。</p> <p>スポーツコース 行事・部活動への意欲的な取組が見られる。コースとしては運動部の活動をより活発にしたい。</p>
カ	社会の役に立とうとする心の醸成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「自分の将来の生き方について具体的に考えている」と答える生徒 80%以上</li> <li>・ 「学校は社会の役に立とうとする姿勢を育てている」と答える生徒 80%以上</li> <li>・ 「進路選択に関する情報が適切に提供されている」と答える生徒、保護者 80%以上</li> <li>・ 「何らかのボランティア活動に参加した」生徒 50%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(生) 81.0%</li> <li>(生) 76.2%</li> <li>(生) 81.0%</li> <li>(保) 82.4%</li> <li>(生) 46.0%</li> </ul>	B	<p>教務課 ボランティア活動に参加する機会が限られている一方で、地域から生徒の善行に対する感謝が寄せられることもあった。社会の役に立とうとする姿勢が育っている一例である。</p> <p>生徒課 他者や周囲への意識が希薄である。自己肯定感と共に高めていく。毎年、地域のボランティア活動に参加させたい。</p> <p>進路課 進路情報を計画的に提供し、進路指導を通じて将来を考えさせた。</p> <p>スポーツコース コースや部活動の指導を通じた教育に効果を感じる。精神面の成長にコースとして更に貢献したい。</p>
キ	心身の健康の保持増進と安心し信頼される学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生徒に対する言葉づかい、呼称、授業のUD化に配慮している教員 100%</li> <li>・ 「信頼できる先生がいる」と答える生徒 80%以上</li> <li>・ 「安心して学校生活を送ることができている」と答える生徒 85%以上</li> <li>・ 朝食摂取率 95%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(教) 100%</li> <li>(生) 81.0%</li> <li>(生) 81.0%</li> <li>(生) 81.0%</li> </ul>	B	<p>生徒課 教室の施錠の習慣が向上、相談室体制の充実が図られた。朝食摂取については、今後、集団指導と個に応じた指導とが必要である。</p> <p>教務課 複雑な背景であったり、人間関係に不安を持つ生徒が増えているが、教員の丁寧な対応により安心して学校</p>

様式第3号

					生活を送ることができている。
ク	教職員の資質・能力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICT 機器を活用した授業実践を試みる 教員 100%</li> <li>「西高の授業はよくわかり、満足している」と答える生徒、保護者 75%以上</li> </ul>	(教)75.0% (生)65.1% (保)79.2%	B	教務課 多様な生徒に個々に関わることでできる少人数クラス編成やICT機器の活用により成果は表れてきている。更に工夫を加えていきたい。
ケ	情報発信、広報活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>「家庭への連絡や情報提供が適切に行われている」と答える保護者 85%以上</li> <li>HP の更新、Instagram・Twitter への投稿を年間計 150 回以上</li> <li>SNS の投稿に取り組んだ教員 80%以上</li> <li>「一日体験入学、学校説明会に来て良かった」と答える参加者の割合 90%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>82.2%</li> <li>171 回</li> <li>20.8%</li> <li>93.8%</li> </ul>	B	総務課 HP の刷新を事務室や後援会と協力し実施した。SNS への教員の取組を増やしたい。 教務課 効果的に情報発信ができています。今後も回数を増やし、更に充実させていきたい。 管理職 体験入学、学校説明会は高い評価をいただいた。今後も工夫を重ねていきたい。
コ	教職員のワークライフバランスの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>時間外勤務の縮小または業務の効率化を図ることができた教職員 50%以上</li> <li>夏季休暇取得率 100%</li> <li>定時退勤できた教職員 80%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>83.3%</li> <li>95.8%</li> <li>66.7%</li> </ul>	B	管理職 職員個々の意識の高まりが数字に表れてきた。定時退勤するための工夫を職員皆で考えて実践したい。
サ	安心・安全で信頼される学校づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>教職員の事故発生件数 0 件</li> <li>施設に関する事故発生件数 0 件</li> <li>監査等の指示、指摘事項 0 件</li> </ul>	公務災害 2 件 施設 0 件 指摘 0 件	B	管理職 学校掲示板等により情報共有、注意喚起を行い、再発防止に努める。 事務室 チェック機能を充実させ、引き続き適正な事務を執行する。